

A	優 良
B	良 好
C	課 題 含
D	要 改 善

施設名	川西市緑台老人福祉センター	管理者	社会福祉法人 川西市社会福祉協議会	所管課	福祉部 地域福祉課	区分	
区 分		指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】		指定管理者一次評価 【市所管記入欄】		指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】	
評価項目及びポイント	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)			
1 施設の設置目的の達成に関する取組み【有効性】	A		A		1 施設の設置目的の達成に関する取組み【有効性】		
(1-1) 施設の設置目的である事業運営の達成	A		A		(1-1) 施設の設置目的である事業運営の達成		
①法令や利用のルール、事業計画に則って施設の事業運営が適切に行われたか。また、施設を最大限に有効活用するとともに、施設の設置目的に沿った成果が得られたか。	A	老人福祉法や川西市条例に則って、老人の健康に関する講座や16グループの趣味の会への活動支援を行いました。 また、スカイウエル(交流高圧電位治療器)やマッサージ器の提供を通じて健康の増進、図書室の利用等をつづじて教養の向上を図るなど設置目的に沿った成果が得られました。	A	施設の設備を活用し、利用者の健康増進や教養の向上に向けた取り組みを行うなど、市の設置目的に沿った運営で一定の成果を上げています。	意見なし		
②利用に係る登録方法や手続について、利用者に対し十分に周知を行い、適正な方法で行われたか。	A	初回利用時には、施設利用と登録について丁寧に説明し、運転免許証やマイナンバーカード、健康保険証等で本人確認を行い、利用証を発行しました。	A	初回利用時には、身分証明書による本人確認を行い利用者証を発行するなど、適切な運営が行われています。	意見なし		
③施設の設置目的に応じた効果的な営業や広報活動を行い、その結果、効果があったか。	A	毎月実施している健康体操につきましては、市の広報に毎月掲載し市内全域で参加者を募集しました。コロナ禍ではありませんが、徐々に参加人数は増え、昨年は一講座につき、ほぼ20名以上の申し込みがあり開催することができました。 また年3回実施している健康講座も、市広報に毎月掲載し、参加者を募集しました。 市広報で参加者を募集したことにより、初めて老人福祉センターを利用される方もおられ、新規登録者が、健康体操で14名、健康講座で5名ありました。	A	利用者増につながるよう市の広報誌を活用しPRを行うなど、施設の周知広報活動を行い成果を上げられています。	意見なし		
< 課 題 >		最も修理等が多かった入浴設備等につきましては、事業の終了により、今後は修理の必要がなくなります。施設の設備全体が老朽化しているため、計画的な改修等が必要です。		今後も老朽化に伴う修繕等は必須となるため、より計画的に改修・修繕の計画をたてる必要があります。	意見なし		
< 改善内容 >		1階多目的トイレ天井の漏水工事を行い、施設設備を整えました。 1階厨房の天井からの水漏れは、入浴事業を終了したことにより改善されました。		大規模修繕に関しては、計画性を持って事前に市と協議しながら進めてください。	意見なし		
(1-2) 施設の利用状況及び事業への参加状況	A		A		(1-2) 施設の利用状況及び事業への参加状況		
①施設の目的に則って、有効に活用(利用)されていたか。	A	川西市健康体操協会所属の指導員による健康体操を年12回実施し、各種講師による健康講座を年3回開催し、47名の高齢者の健康の増進に取り組みました。 個人利用者は、入浴利用者、スカイウエル(交流電圧電位治療器)や血圧測定、マッサージ機を利用される方、囲碁将棋や図書室で読書を楽しまれる方です。 趣味の会は、16グループが登録されており、生け花や手工芸、麻雀や懐メロ、社交ダンスや卓球など様々で、老人の健康の増進と生きがいづくりに繋げることができました。	A	健康講座の開催など、利用者の生きがいや健康づくりに取り組まれています。 さらに多様な趣味グループの活動支援を通じて、利用者の教養向上を図る場として、有効に機能しています。	意見なし		
②施設の利用者や実施された事業への参加者数の増加、サービス利用者の利用回数の促進など創意工夫が図られたか。	A	利用者の関心が高い健康体操は、年間12回実施し247名の参加があり、健康講座は、健康測定会や認知症予防体操、ハンドマッサージ3回開催し47名の参加がありました。 新たな事業を企画し、参加者の募集を広報や呼びかけなどを積極的に行った結果、参加者は、昨年度より100名多い294名となりました。	A	新たな事業を実施するなど、利用者の増加に向けて創意工夫や努力がうかがえます。	課題も抱える中ではあるが、事業の啓発や新規利用者の獲得へ向けた取り組みも引き続き行うこと。		
< 課 題 >		新型コロナウイルス感染拡大防止対策を継続して行い、利用者が求める内容の自主事業に取り組むことが重要です。		入浴事業が廃止になったことにより高齢者の生きがいや健康づくりの機会の減少が懸念されます。	意見なし		
< 改善内容 >		新型コロナウイルス感染拡大防止対策としては、密にならないような入館受付や消毒、空気清浄機や換気のための扇風機の設置などを徹底して行いました。 そして、健康測定会や認知症予防体操、ハンドマッサージなど利用者の関心が高い健康に関する講座を3つ実施するとともに入浴事業等を行いました。		今後も可能な限り感染症対策を行いながら、高齢者の健康や生きがいづくりにつながる事業を継続していく必要があります。	意見なし		
(1-3) 利用者の満足度	A		A		(1-3) 利用者の満足度		
①利用者の満足度を把握するため、定期的にアンケート調査などを実施したか。	A	健康講座の「懐メロと軽体操(介護予防体操)」において、アンケートを行いました。	A	施設のみならず、講座ごとにアンケートを実施し、利用者の意見に耳を傾けています。	意見なし		
②利用者アンケート調査の結果から、施設利用者ニーズや満足度を把握し、事業の改善等が得られたか。	A	健康講座の「懐メロと軽体操(介護予防体操)」におけるアンケートでは、歌を歌うなど楽しい介護予防教室は良かったという声が多くありました。今後は、音楽を取り入れて楽しみながら健康の増進が図られる事業を多く企画、実施していきます。	A	利用者のアンケートに基づき講座の開催内容の企画するなどして、利用者の満足度を高める対応がとられています。	意見なし		

A	優 良
B	良 好
C	課 題 含
D	要 改 善

区分	指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】		指定管理者一次評価 【市所管記入欄】		指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】
評価項目及びポイント	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)	
③利用者からの苦情に対して十分な対応がなされたか。	A	①入館する時に、履いてきた靴を持参して袋に入れて各自が持っているが、一の鳥居老人福祉センターのように、下駄箱を使えるようにしてほしいという要望がありました。当センターは、利用者が多く、新型コロナ感染拡大防止のため、下駄箱を共有することは避けている旨を説明し、納得いただきました。 ②入浴事業の廃止や市の説明会について、自分の思いを書いたのでみてほしいと書類をお持ちになりました。読ませていただいた後、市の地域福祉課に提出させていただいて良いかお訊ねすると市への提出はお断りされました。 ③設備の故障により入浴事業が停止されていることへの苦情があり、有料で故障部分の調査をするのかどうか市と協議し対応いたしました。	A	利用者のご意見、苦情に対し、適切に対応されています。	意見なし
④アンケート調査以外に、さまざまな手法で利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。	A	館内に意見箱を設置し、意見や要望などを、受け付けられるようにしています。利用者には、常にあいさつや声掛けを行い、利用者の意見を把握し、職員間で協議し対応しました。	A	日頃から利用者とのコミュニケーションをとりながら、様々な意見を聞ける体制を整えています。	意見なし
⑤サービスの質を向上させるため具体的な取り組みを行ったか。また、取り組みの結果、どのような効果が得られたか。	A	1階玄関のカウンターや2階フロアにおいて、ほぼ全ての利用者にあいさつや声掛けが行われました。体調の具合やセンターに対する要望などについて、その場で丁寧に対応しました。	A	引き続き利用者のサービス向上にむけて、丁寧な対応をお願いします。	意見なし
< 課 題 >		利用者が求める講座等の事業を、今後もアンケートや聞き取り調査などで把握し、事業を実施するようにします。		特になし	意見なし
< 改善内容 >		利用者が最も求めているのは健康に関する事業であり、新型コロナウイルス感染対策を行いながら、健康体操や健康講座を実施しました。		引き続き感染症対策を行いつつ、施設利用者数の増を目指し、利用者とのコミュニケーションをとりながらニーズの高い講座の開催を行ってください。	意見なし
2 効率性の向上に関する取組み 【効率性】	A		A		2 効率性の向上に関する取組み 【効率性】
(2-1) 経費の節減	A		A		(2-1) 経費の節減
① 施設の管理運営に関し、経費を効率的に節減するための十分な取組みが行われ、その効果が得られたか。	A	センター内の照明は、必要な場所のみ点灯させ、それ以外は小まめに消灯しました。照明の電球も間引きができるところは継続して間引きを行っています。また、扇風機を活用するなどして、電気の節減に努めました。水道についても、職員が意識して日頃から節水に努めました。図書は、古本屋で購入し経費を節約しました。	A	高齢者が利用するという特性に配慮しつつも、無理のない範囲で経費の削減に努めてください。	意見なし
② 管理運営業務の遂行にあたり、業者発注や業務委託により行われる場合、適切な水準で行われ、経費が最小限となるような競争が行われたか。	A	物品の購入については、必ず相見積りにより安価な業者やお店から購入しました。また、修理や業務委託などにおいても同様に、必ず相見積りにより安価な業者に発注しました。さらに、職員ができる修理などは、可能な限り職員が行うようにしました。	A	物品の購入、修繕の実施に当たっては、複数業者から見積りをとるなど、適切に運営しています。また、軽微な修繕等は職員が対応し、経費削減に努めています。	意見なし
< 課 題 >		今後は、照明器具のLED化や空調設備本体のメンテナンス、老朽化した機材等の更新による効果によって、経費の節減を図ることも必要です。		特になし。	意見なし
< 改善内容 >		節電や節水などを利用者にお願ひし、理解をいただきながら職員が率先して行っています。空調機器本体のメンテナンスを定期的に行うなど、川西市と協議しながら計画的に実施します。		設備の改修など、大規模な修繕工事については、計画的に進めて対応する必要があることから、市と協議をしながら進める必要があります。	意見なし

A	優 良
B	良 好
C	課 題 含
D	要 改 善

施設名	川西市緑台老人福祉センター	管理者	社会福祉法人 川西市社会福祉協議会	所管課	福祉部 地域福祉課	
区分		指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】		指定管理者一次評価 【市所管記入欄】		指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】
評価項目及びポイント	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)		
(2-2) 収入の増加	評価なし		評価なし		(2-2) 収入の増加	
① 収入を増加させるための具体的な方法の検討や取り組みを行ったか。						
② 収入の増加など取り組みの効果は得られたか。						
< 課 題 >						
< 改善内容 >						
(2-3) 収支のバランスなど	評価なし		評価なし		(2-3) 収支のバランスなど	
① 収支のバランスは、適切であったか。						
② 費用対効果を考えながら、経費の効果的で効率的な執行が行われたか。						
③ 収支の内容に不適切な点はなかったか。						
< 課 題 >						
< 改善内容 >						



A	優 良
B	良 好
C	課 題 含
D	要 改 善

施設名	川西市緑台老人福祉センター	管理者	社会福祉法人 川西市社会福祉協議会	所管課	福祉部 地域福祉課	指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】	指定管理者一次評価 【市所管記入欄】	指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】
区分	指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】		指定管理者一次評価 【市所管記入欄】		指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】			
評価項目及びポイント	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)				
3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み【適正性】	A		A		3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み【適正性】			
(3-1) 管理運営の実施状況	A		A		(3-1) 管理運営の実施状況			
①法令や市等の指導に基づき、施設の管理運営に、適切な人員配置をされていたか。	A	再雇用職員1名(施設長)、臨時職員の事務員(常勤1名)、臨時職員の指導員(非常勤2名)で調整を行い、常時3名体制で管理運営を行いました。	A	人員配置は適切です。	意見なし			
②法令や市等の指導に基づき、業務に必要な研修・教育が適切に行われたか。	A	業務に必要な研修会の参加などは特にありませんでしたが、利用者や市民からの相談があった場合は、センターとしてどう対応するかを職員間で必ず協議をしました。また当日、休みであった職員にも翌日には情報を共有しました。 常に相談者である本人に寄り添い相談を受け入れ、そして了解を得ながら関係機関や団体、関係者へ丁寧に繋げて、相談支援を行うことを職員間で共有しました。	A	職員間で情報や対応方法の共有を行うなど、利用者サービスの向上に努められています。	意見なし			
③経費の節減やサービス提供の質など、管理運営が適切に行われていたか。	A	光熱水費の節減を、職員が常に意識して行い、利用者にも説明し理解を得ました。また、職員が修理可能な修理は、職員が行うなど経費の節減に努めました。 日頃から利用者に挨拶や声掛けを行い、ご要望をお聴きし対応するなど、快適な施設的环境づくりやサービスの質の提供を行い管理運営を適切に行いました。	A	軽微な修繕等は職員が対応し、経費削減に努めています。また、利用者とのコミュニケーションをとり、環境整備に努められています。	意見なし			
④施設の良好な管理運営を進めるため、新たな取り組みについて、指定管理者自ら提案・検討を進め、実施されたか。	A	センター1階玄関のカウンターに職員が座り、来館される利用者全てにあいさつや声掛けを行うようにし、2階フロアにおいても職員が常に声掛けを行うことで、利用者の体調等の状況把握やセンターに対する意見や要望などを直接利用者から聞き適切な対応ができました。 さらに1階玄関のカウンターでは、福祉委員会事務所やNPO法人成年後見センター川西の来客への対応及び、子どもの居場所である「すまいる」利用者に対しても適切に対応しました。	A	大きな事故が発生する前に、予防的に措置を講じたり、注意喚起をすることが重要です。引き続き利用者とのコミュニケーションをとり、適切な対応をお願いします。	意見なし			
< 課 題 >		同じエリア内にグリーンハイツ第2自治会館、地区福祉委員会のカフェ「いこい」があります。センター内には、地区福祉委員会事務所と子どもの居場所の「スマイル」、そしてNPO法人成年後見センター川西があり、駐車場不足などの共通の問題があります。		特になし。	意見なし			
< 改善内容 >		自治会や地区福祉委員会、NPO法人成年後見センター川西との情報共有を継続し、連携して問題や課題に取り組み事業運営します。		引き続き、地域団体と積極的に情報共有、連携しながら、事業運営を進めてください。	意見なし			
(3-2) 法令順守、個人情報の保護、安全対策、危機管理体制、平等利用など	A		A		(3-2) 法令順守、個人情報の保護、安全対策、危機管理体制、平等利用など			
①法令に沿った適正な事業の実施を行うだけでなく、チェック体制などの整備や機能をさせているか。	A	初回利用時には、施設利用と登録について丁寧に説明し、希望の場合は施設内を案内し見学していただいています。登録については、運転免許証やマイナンバーカード、健康保険証で本人確認を行い、利用証を発行しました。 また、他の施設等での内部監査の結果を踏まえ、当センターに該当しないかどうかを常に確認し、改善が必要な事項については対応しています。	A	身分証明書にて本人確認を行うなど、適正な手続きをとっています。法人内に監査チームを設置し、法令遵守等のチェック体制を整えています。	意見なし			
②施設利用者の個人情報保護などの取扱いが適切に行われているか。	A	個人情報は鍵のかかる保管庫に入れ、持ち出し禁止にしています。 外部からの問い合わせについては、必要かつ緊急時以外には答えないようにするなど、個人情報などの取り扱いを適切に行っています。	A	個人情報保護の観点から、書類等は鍵付きの保管庫に収めるなど、適切に管理されています。	意見なし			
③日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されているか。	A	利用者が当センターを正しく利用されているかどうか、そして設備等の確認をするために、職員が館内を巡回しています。また、防犯カメラを設置し、センターの内部や外部の安全を確認しています。 毎月、消防設備自主点検を行い、非難経路の確認や消火器の位置確認を交代で全職員が実施しています。	A	防犯カメラや職員による巡回など、適切に利用者の安全対策を講じています。	意見なし			
④防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であるか。	A	休館日や夜間の警備は警備会社に委託しています。年2回の火災避難訓練を行い、そのうち1回は消防隊員の立会いの下で実施しています。火災避難訓練では、利用者と共に居場所スマイルの子どもたちと一緒に参加するなど火災発生時への備えを行っています。	A	夜間警備等は専門業者に委託し、防災面についても年2回の訓練を実施するなど、適切な危機管理体制を敷いています。	意見なし			
⑤事故発生時や非常災害時の対応についてマニュアルを作成するなど適切な対応ができるように整備しているか。	A	新型コロナウイルス、ノロウイルス、インフルエンザなどの感染予防対策や火災避難・事故対応・レジオネラ菌対応等のマニュアルを作成し、職員間で内容を確認しています。	A	災害、事故マニュアルを整備し、迅速な対応がとれるよう対策を講じています。	意見なし			

A	優 良
B	良 好
C	課 題 含
D	要 改 善

区分	指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】		指定管理者一次評価 【市所管記入欄】		指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】
評価項目及びポイント	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)	
⑥利用者を限定しない施設では、利用者が平等に利用できるよう配慮したか。	A	施設利用に関する注意点などの説明文を作成し、分かりやすく掲示しています。 また、初回利用者や久しく利用されていない方に対しては、わかりやすく丁寧にセンター利用の説明をするとともに、希望される方にはセンターを案内して説明しています。また、新型コロナウイルス感染拡大防止の対策についても説明をしています。	A	初回利用時に個別に説明を行い、口頭で注意点を周知するとともに、必要事項をその都度掲示するなど、利用者の理解を得るための配慮がなされています。	意見なし
⑦利用者が限定される施設では、利用者の選定を公平でかつ適切に実施したか。		非該当		—	意見なし
< 課 題 >		急な体調不良などによる緊急時の対応について、研修等を行って行く必要があります。 軽度の認知症が疑われる方が利用されており、忘れ物や人の物と自分のものを混同されるなど、物忘れによるトラブルが増えており、認知症の方への対応方法等の研修も重ねる必要があります。		施設利用者の特性に合わせた研修等を行い、対応策を検討する必要があります。	意見なし
< 改善内容 >		今後も、救急法や認知症に関する研修を積極的に受け、緊急時や認知症への対応力を高めて行きます。 また、利用者への声掛けを常に行い、体調等の変化について気を付けて見守を続けます。		利用者が高齢者という施設の特性を考えると、日常の事故防止などの安全対策や注意喚起が重要となります。大きな事故が発生する前に、予防的な措置を講じたり注意喚起するなど、引き続き、適切な対応をお願いします。	意見なし
総合評価	指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】		指定管理者一次評価 【市所管記入欄】		指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】
評価ランク	A		A		
・評価できる内容		健康に関する講座や健康体操を実施することにより、介護予防に繋げることができました。 入浴事業では、利用者の身体を清潔に保つことができ、スカイウエル(交流高圧電位治療器)やマッサージ器の提供により健康の増進につながっています。そして、器具の使用をつうじて顔見知りになるなど交流の場にもなっています。 利用者数は、新型コロナの前の約半数、昨年より1万人増加の累計約2万人でした。事業実施日数は、昨年とほぼ同じの243日、入浴事業は、昨年より132日多く183日でしたが、設備の故障や水漏れの修理の目途がたたないため、令和5年2月に事業を終了しました。 また、利用者など5人について、安否確認や悩みごとの相談など福祉関係機関等と連携して支援し、地域の総合相談窓口の役割を果たすことができました。		高齢者の健康増進や、生きがいづくりの場として機能できています。 入浴事業が廃止となったこともあり、利用者の減少が見込まれるので、ニーズの高い講座の開催等の検討をお願いします。 高齢者の相談に、地域の機関と連携することで高齢者福祉の充実に貢献しています。	身体障がい者への対応等、評価に現れない部分でも非常に丁寧に対応してもらっている。利用者の立場になって対応してもらっている。
・令和4年度に改善した内容		①2階のセンターにおいて、防犯カメラを3箇所から5箇所に増やしました。また、防犯カメラのモニターや操作は、これまで1階の事務所のみでしかできませんでしたが、各職員のパソコン画面がモニターになり、操作もパソコンで可能になりました。 ②新型コロナウイルス感染拡大防止のため、非接触型体温計1台と除菌機能付き空気清浄機3台を市の備品として設置しました。 ③教養娯楽室の入口で転倒事故があり、転倒防止用の手すりを新たに取り付けました。 ④地震対策として、ロッカーに家具転倒防止ポールを設置しました。 ⑤図書室の本棚が老朽化しており新しく購入しました。		引き続き、施設内での事項防止に向けて、予防的に措置を講じてください。	意見なし
・令和4年度に改善したことによる効果		①2階のセンターに防犯カメラを2箇所増やしたことにより、2階フロアのほぼ全体がモニターから確認できるようになり、利用者の状況把握がしやすくなりました。また、各職員のパソコン画面がモニターになり、操作もパソコンで可能になったことから安全対策の強化が図られました。 ②非接触型体温計の設置により、利用者の体温測定が、正確かつ速やかにできるようになり、除菌機能付き空気清浄機を脱衣室や図書室に設置することにより新型コロナウイルス感染拡大防止に取り組みました。 ③教養娯楽室の入口に、手すりを新たに取り付け、転倒防止に取り組みました。 ④地震対策として、ロッカーに家具転倒防止ポールを設置し、安全対策を強化しました。 ⑤図書室の本棚が老朽化しており新しく購入したことにより、利用者が書籍を選びやすくなりました。		日頃から利用者とのコミュニケーションをとりながら、様々な意見やニーズを把握できるよう努められています。利用者サービス向上のため、今後も積極的な実施をお願いします。	意見なし
・問題があり次年度以降改善が必要な点		建物や設備全体が老朽化しており、日頃から点検を行い、大規模修繕に至らないようにします。 入浴事業が廃止されると、個人利用者が大幅に減ることが考えられるため、自主事業などを増やし多くの利用者に参加していただき利用者増に取り組む必要があります。		設備の修繕については、日常的に点検を実施し大規模修繕とならないよう、計画的に対応してください。また、大規模修繕については事前に優先順位を決めて市と協議を実施してください。	意見なし
・改善方法とその時期		建物や設備については、継続的に定期点検を行い、老朽化の状況を把握すると共に、日常的に見回りをを行い、建物や設備の管理を行います。 入浴事業廃止による利用者数の減少につきましては、民間企業と連携し講座を開催するなど自主事業を増やします。そして、新規の利用者などに当センターを知ってもらい、日頃の利用につなげ利用者増につなげます。		建物や設備の修繕については、緊急性の高いものから対応するなど、計画的に進めるため市と適切に協議を実施するよう努めてください。 また、高齢者の生きがいづくりの場を維持するため、引き続き利用者とのコミュニケーションをとり、ニーズの高い講座を開催するなど、利用者増につなげてください。	意見なし

A	優 良
B	良 好
C	課 題 含
D	要 改 善

施設名	川西市緑台老人福祉センター	管理者	社会福祉法人 川西市社会福祉協議会	所管課	福祉部 地域福祉課	
区 分	指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】		指定管理者一次評価 【市所管記入欄】		指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】	
評価項目及びポイント	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)		

【記入上の留意点】

- (1) 指定管理者は、自己評価記入欄に、市所管課は、一次評価記入欄に評価を記入いただきますようお願いいたします。
- (2) 水色の表観覧にはドロップダウンで評価(A、B、C、D)が選択できます。評価欄の濃淡ピンク色の部分は、水色の部分に評価を入力すると自動的に総合評価が表示されます。